

教 師 ノ ー ト

日付 2012年 1月29日

単元 ヨハネの福音書・2

テーマ イエス様に繋がる

タイトル まことのぶどうの木

テキスト ヨハネ 15:1-17

参照箇所

暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)

ヨハネ 15:5

AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます)

□導入

みなさんは、ブドウが好きですか?ブドウ狩りに行った事がありますか?(できれば、ブドウ畑の写真や絵等があればよいと思います。)ブドウは、枝を長く延ばして、実がたくさん実って、私たちは美味しいブドウを食べる事ができるのです。実がなるというのは、その木が生きている証拠です。

□ポイント1 イエス様は、まことのぶどうの木です

イエス様は、お弟子さん達に「わたしはまことのぶどうの木です。」と言われました。「わたし」とはイエス様のことです。イエス様がぶどうの木だということです。そして「あなたがたは枝です」とイエス様は言われました。枝は、自分では生きる事はできません。枝だけが宙に浮いて果物が出来ている・・・なんて、ありえないでしょう?枝はいのちのある木につながって、養分をもらってはじめてその枝は生きるのです。イエス様という木は、とても良い木です。それは、たくさんの実を実らせる事が出来る、いのちのある木だからです。

☆ではイエス様につながるってどういうことだと思いますか?

□ポイント2 イエス様につながるとは、イエス様の言葉につながることです

イエス様につながっている人は、イエス様の言われた言葉を無視しません。イエス様の言われた言葉を大切にせずにはいられません。そしてイエス様の言葉に従って祈り求めるなら、それは与えられるって約束されているのです。私たちの願うことが何でもかなうのではなくて、イエス様の言葉である聖書を信じて、イエス様の心と1つになって祈り求めたら、それは与えられます。

例)先生は、どうしても好きになれない人がいました。その人と仲良くしたくなかったのですが、そういうわけにもいかないし、仲良くできなかったことがしんどくなってきました。そんな時、イエス様の言葉に「早く仲直りをしなさい」(マタイ 5:25)あるのを思い出しました。そこでイエス様に「自分には仲直りする勇気がありません。でもイエス様、あなたは『仲直りしなさい』と勧めています。どうぞその力、勇気を下さい」と祈り続けました。するとある日、ちょっとしたきっかけだったんだけど自分の方から「ごめんなあ」と言えて、仲直りすることができました!イエス様の言葉につながって、祈り求めたら、その通りになったんです。

□ポイント3 イエス様につながるとは、イエス様の愛につながることです

そして次にイエス様につながるとは、イエス様の愛につながることです。イエス様がいのちをかけてあなたを愛して下さいように、あなたの隣の人もいのちをかけて愛しておられるのです。イエス様にとっては、あなたの隣にいる人も大切な人なのです。イエス様を信じている人同士が、お互いに傷つけ合うことは、イエス様を傷つけることです。イエス様が、私たちの罪のために十字架にかかってくださって傷だらけになられたのに、またイエ

ス様を傷だらけにするのですか？ 本当に悲しい事です。イエス様は、「わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい」と言われました。今日、ここにきている友だちはもちろん、休んでいる人たちともイエス様の愛で、お互いを大切にしましょう。

(たぶん「イエス様はあなたを愛しています」と言うのが恥ずかしい学年もあると思いますが、「イエス様は〇〇さん(くん)を愛しています」とお互いに言い合ひましょう。言葉に出して言う事は、大切な事です。ただし、女の子同士、男の子同士がいいでしょう。)

例)イスラエルのある地中海の地方は、ぶどうがたくさん採れるそうです。日本では秋に柿が実ります。みんなもよく知っているように、柿には渋柿と甘い柿があります。本当は渋い実しかない枝でも、甘い実を实らせる木に接ぎ木をすると、甘い実がなるというから不思議です！(実際は柿にも雄や雌があり、いろいろと接ぎ木はややこしそうですが、ここではちょっと単純化しています)私たちの愛は、機嫌が良い時は愛したり、愛してくれたら愛するとか、渋柿のようなものでしょう。でもイエス様にしっかりと接ぎ木されると、イエス様の愛は本物だからその愛で周りの人を愛していけるのです。

□結論 イエス様に繋がると、あなたも他の人も豊かになるのです

暗唱聖句を読み上げます

□適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

私たちの周りでは、いろいろな事を言う人たちがいます。占いやおまじないや習慣などで決めようとする人たちがいます。でも、イエス様にしっかりとつながることが大切です。イエス様の言葉を信じて祈り求めたものは、いつまでも残る実となります。イエス様の愛で愛し合う愛は、気まぐれや一時だけのものではなく、いつまでも残る愛の実を結びます。